



主催：筑波大学 附属病院 循環器内科診療グループ

「第4回 市民公開講座」 ～知らずにいると怖い不整脈～

開催案内

日時：平成28年10月2日（日）
10：00～12：00

開場：9：00～

受付：9：15～（中ホール前）

対象者：一般市民の方、不整脈治療に関心のある方、どなたでも参加可能

参加費：無料（途中参加可能）

事前申込み：不要（定員200名）

場所：つくば国際会議場2階中ホール

*会場駐車場（裏面）をご利用の方には、駐車券をお渡しいたしますので受付でお申し出ください。

*市民公開講座へのお問合せはメールでお願い致します。
筑波大学附属病院 循環器内科
E-mail：Heart2@md.tsukuba.ac.jp



～心房細動とは～「日本不整脈心電学会HP 抜粋」

[\(http://new.jhrs.or.jp/public/lecture/lecture-2/lecture-2-a-1/\)](http://new.jhrs.or.jp/public/lecture/lecture-2/lecture-2-a-1/)

正常な心臓のリズムは、安静時に規則的に1分間で60回～100回拍動します。しかし心房細動になると心房の拍動数は1分間で300回以上にあり、心臓は速く不規則に拍動します。心房細動と言う不整脈は年齢が上がるにつれて発生率が高くなり、また女性よりも男性に多く発生します。日本では70万人以上が心房細動を持っていると推定されています。心房細動は健康な方でも発生しますが、高血圧、糖尿病、心筋梗塞・弁膜症などの心臓病や慢性の肺疾患のある方は発生しやすく、またアルコールやカフェインの過剰摂取、睡眠不足、精神的ストレス時に発生しやすくなる方もいます。心房細動自体は命に関わるような重症な不整脈ではありません。しかし動悸、息切れ、疲れやすいなどの症状が現れ、また脳梗塞の発生率が高くなるため適切な治療が必要です。秋の日に市民の皆さまと一緒に不整脈について学べることを楽しみにしております。

プログラム

司会：縮 恭一（筑波大学附属病院 医療機器管理センター）
梅津 努（筑波大学附属病院 看護部）

10：00【開会の挨拶】（中ホール）安島 良輝子
（筑波大学附属病院 看護部）

10：00～10：15

「市民公開講座開催にあたり」

青沼 和隆先生

（筑波大学医学医療系循環器内科学教授）

10：15～10：35

【講演1】「知っていますか？茨城県の実状」

山岸 良匡先生

（筑波大学医学医療系社会健康医学講師）

10：35～10：55

【講演2】「心房細動と言われたら」

黒木 健志先生

（筑波大学附属病院病院講師）

10：55～11：15

【講演3】「薬を使って上手に長生き」

本間 真人先生

（筑波大学医学医療系臨床医学域臨床薬学分野教授）

11：15～11：35

【講演4】「筑波大学の最新の心房細動バルーン治療」

山崎 浩先生

（筑波大学医学医療系循環器内科学講師）

11：35～11：55 質疑応答・アンケート記入

11：55【閉会挨拶】

坂元 雄介

（筑波大学附属病院 医療機器管理センター）

会場周辺地図・駐車場のご案内

※案内に指定されている駐車場に止めた方は無料駐車券を配布いたします。



つくば駅 A3 出口を出て、バスロータリーに沿って右に進み、階段を上り、遊歩道を直進およそ 800m。